

元気UP アツプ通信



下関市長の部屋

検索

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>

飛躍！コンベンションシティ下関 第58回日本糖尿病学会 年次学術集会在開催されました

「第58回日本糖尿病学会年次学術集会」の関連イベント「ラン&ウォーク」の参加者。写真奥は、あるかぼーとに停泊中の客船「ばしふいっくびいなす」(5月22日)

光客の増加による交流人口の拡大を目指すことが、地方都市の課題です。本市では、2022年の観光客数100万人、宿泊客数100万人を目指して「観光交流都市下関」を宣言し、具体的な方針を示す「下関市観光交流ビジョン2022」を策定しています。その中の戦略的な柱の一つとして「コンベンション誘致」を掲げ、交流人口拡大に努めています。

この学術集会是、糖尿病に関する学理や応用の研究調査、発表、知識の交換などを行うことで、わが国の学術の発展と福祉の向上を目的に毎年開催されるものです。参加者は国内医学従事者や海外招待者を合わせ約1万2000人の大規模な学術集会のため、これまで大都市での開催に限られてきました。本市のこれまで開催した最大規模のコンベンション(大会)は、平成22年7月に開催した「第65回日本消化器外科学会」の参加者6500人なので、これまでと比較にならないものです。

コンベンションは、一般の観光客と比べても大きな経済効果をもたらします。宿泊だけでなく大会終了後での観光、飲食、土産など、日本消化器学会では6500人の参加者で、本市への経済波及効果は4億7000万円と試算されています。今回はそれを上回る経済効果が期待できます。

この規模のコンベンションになると、本市の施設だけでは賄いきれないため、期間中にはあるかぼーと岸壁に客船「ばしふいっくびいなす」が停泊し、学会会場の一つとして活用されました。

今回、過去最大規模のコンベンションが無事成功できたことは、次の誘致につながることはもちろん、関係者の大きな自信にもつながりました。今後市民の皆さんには、観光客のみならず、コンベンション参加者への最高級のおもてなしで、下関ファンづくりへのご協力をお願いいたします。

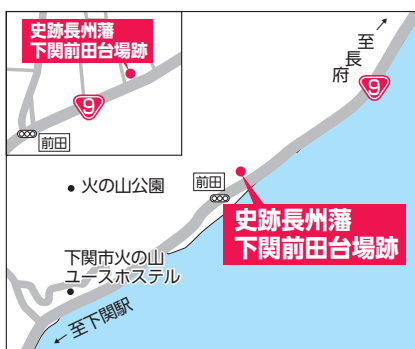
現在、全国的にも定住人口の増加が容易に望めない状況です。観

願いいたします。

しものせきナビ vol.57

幕末維新紀行

史跡長州藩
下関前田台場跡
(前田砲台跡)
下関市前田一丁目
148番1ほか



関門海峡を臨む茶臼山山麓に、史跡長州藩下関前田台場跡があります。この台場(砲台)跡は、幕末の下関での攘夷戦争(外国船排斥に伴う武力衝突)に備えて、長州藩が海峡沿いに多数築造した台場の一つで、最も激烈な戦闘の舞台となりました。

英国を中心とする四国連合艦隊による元治元(1864)年8月の下関報復来襲に際しては、上陸部隊によって占拠され、施設は焼き払われ、設置された青銅製大砲(長州砲)はことごとく持ち去られました。この様子が、



従軍写真家ベアトによって撮影され、広く海外に新聞報道されたことから、その存在が、世界的にも知られることとなりました。この出来事は、長州藩が「攘夷」から「開国」へと方針を転換する起点となりました。まさしく台場跡は、その後の日本の近代化へのターニングポイント(分岐点)として位置づけることができます。

皆さんも、現地で歴史の息吹を感じてみませんか。

文化財保護課(☎254-4697)